

レイズネクスト 2021 年 3 月期決算説明会質疑応答

■日 時：2021 年 5 月 20 日（木）15:00～15:45

■主な質疑内容

Q 2022 年 3 月期中間期の業績見通しで、前中間期比で増収減益となる要因は何か。

A 完成工事高については、前中間期は、上期に完工を予定していた大型定期修理工事が工期延長により下期にずれ込んだ。この影響により前中間期の完成工事高が減っており、2022 年 3 月の中間期の業績見通しは前中間期比で増収となる予想である。（仮にこの工事が上期に完工していれば、前中間期の完成工事高は 2022 年 3 月期中間期の予想を上回る。）

また、損益については、前中間期は採算性の高い工事が多かったため、2022 年 3 月期の中間期は前中間期比で減益となる予想である。

Q 第 2 次中期経営計画で注力する再生可能エネルギー分野の具体的内容は何か。

A 太陽光発電建設工事の継続的受注と地上型風力発電建設工事などの受注を積極的に行う。また、水素分野では、水素貯蔵タンクへの対応を検討していく。

Q 事業承継問題のある協力会社について、M&A の計画はないか。

A 現在のところ、具体的な案件や計画はない。事業承継問題については、協力会社との連携課題として今後も検討・対応していく。

Q 長期ビジョンの事業環境として、石油・石油化学業界の見通しをどう見ているか。

A 今後も石油・石油化学の設備等の集約は進み、市場全体は減少すると想定している。ただし、当社が受注している石油・石油化学プラントのエリアについては、シェア拡大の余地があると考えているため、現在の事業規模を維持するため受注拡大に努めていく。

以 上